

パーソナルカラー診断における全国の「フォーシーズン」分布

“Four Seasons” Distribution on Personal Color Checkup in Japan

平良木 節	Setu Hiraragi	WAM カラーネットワーク CUS研究会	WAM Color Network CUS Study Group
小木ゆみこ	Yumiko Kogi	WAM カラーネットワーク CUS研究会	WAM Color Network CUS Study Group
塩田 敬子	Keiko Shiota	WAM カラーネットワーク CUS研究会	WAM Color Network CUS Study Group
鈴木 頼子	Yoriko Suzuki	WAM カラーネットワーク CUS研究会	WAM Color Network CUS Study Group
富永 日鶴	Hizuru Tominaga	WAM カラーネットワーク CUS研究会	WAM Color Network CUS Study Group
中村裕美子	Yumiko Nakamura	WAM カラーネットワーク CUS研究会	WAM Color Network CUS Study Group

キーワード: パーソナルカラー、分布調査

keyword: personal color, research of distribution

1 はじめに

パーソナルカラー診断では4カテゴリーに分類される診断用布(ドレープ)を用いて個人に似合う色のカテゴリーを決めていく手法が大半である。カラリストスクールWAM | C | においても「ブライトスプリング」「パステルサマー」「ディープオータム」「ブリリアントウインター」という4カテゴリーで似合う色を診断している。

パーソナルカラー診断が日本に紹介されてから20年近くを経過し、診断を受けている人は相当数に上ると思われるが、実際、4つのカテゴリー(以下4シーズン)の内訳に関する調査報告はなされていない。本調査は、カラリストスクールWAM | C | が保有する15年分の診断データのうち、H11年12月からH15年2月までの過去3年分を整理し、4シーズン別の分布を調査したものである。

2 方法

- ・調査対象者: 色彩関係の通信教育受講生
約11,000人
- ・方法: CUSパーソナルカラーチェックシートによる自分色診断(4シーズン分類によるパーソナルカラー診断)
- ・期間: 平成11年12月~平成15年2月

3 結果

1) 表1は、地域別構成比を示す。全国規模で見ると構成比は「パステルサマー」「ブライトスプリング」「ディープオータム」「ブリリ

アントウインター」の順になっている。

2) 地域別に構成比を比較すると東北、四国では全国平均と異なった比率になっていることがわかる。

3) 図A-1・2に見られるように男女別に4シーズンを比較すると男女では4シーズン分布が異なっている。

4) 図B-1・2はファッションなどの消費が集中する首都圏(東京・神奈川・埼玉・千葉)と京阪神地域(大阪・京都・神戸)を比較しているが両地域に大きな差は見られない。

4 まとめ

1) 「日本人はソフトな髪質の黒髪、黒い瞳にブルーイッシュピンクの頬色のタイプが多い」という表現をしばしば耳にするが、今回の調査でも「パステルサマー」が多い結果となり、一般に言われていることの裏付けが得られた。

2) 「パステルサマー」の次に肌の色も目や髪の毛も明るい「ブライトスプリング」が多い結果となった。こうした順位をさらに細かく分析する為には年齢別の調査も行う必要があると考えている。

3) 首都圏と京阪神ではファッションの購入傾向に差があると指摘されることもあるので比較を試みたが、今回の調査では両地域に明らかな差がなく、パーソナルシーズンとファッションの購入傾向とは連動していないことが分かった。

今回の4シーズンの分布が、10数年前から変わらないのか、今後変化するのか、日本人の食生活の変化やライフスタイルの変化との関連から、継続的に調査していきたいと考えている。

表1: 地域別構成比

地域別人数			構成比			
			Bright Spring	Pastel Summer	Deep Autumn	Brilliant Winter
1	北海道	426	20.2%	41.3%	18.5%	20.0%
2	東北 (青森・秋田・岩手・福島・山形・宮城)	620	22.3%	37.3%	25.8%	14.7%
3	関東 (東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・茨城・群馬)	3,748	22.4%	41.6%	18.8%	17.2%
4	甲信越 (山梨・長野・新潟)	479	21.3%	43.6%	17.5%	17.5%
5	北陸 (石川・福井・富山)	234	21.4%	44.9%	19.7%	14.1%
6	東海 (静岡・岐阜・愛知)	1,145	24.5%	37.9%	22.3%	15.4%
7	近畿 (大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・三重・和歌山)	2,172	24.1%	40.0%	20.5%	15.3%
8	中国 (岡山・広島・島根・鳥取・山口)	618	20.4%	45.8%	19.4%	14.4%
9	四国 (徳島・香川・愛媛・高知)	284	20.8%	37.7%	23.9%	17.6%
0	九州 (福岡・長崎・大分・佐賀・鹿児島・熊本・宮崎・沖縄)	1,019	22.3%	39.1%	22.5%	16.2%
	合計	10,745	22.6%	40.7%	20.4%	16.3%

図1: 男女別構成比

図1-A(男性)

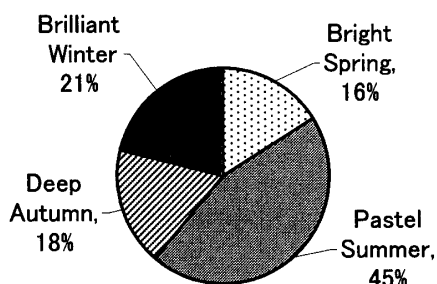


図1-B(女性)

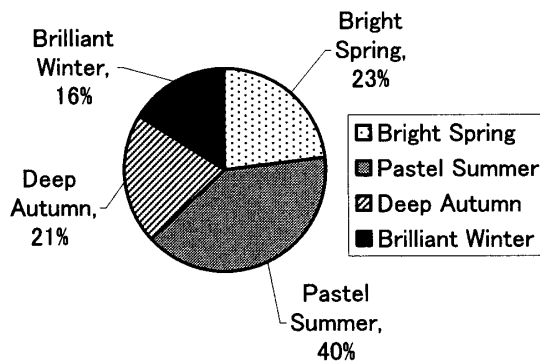


図2: 首都圏・京阪神の比較

図2-A(首都圏/東京・埼玉・神奈川・千葉)

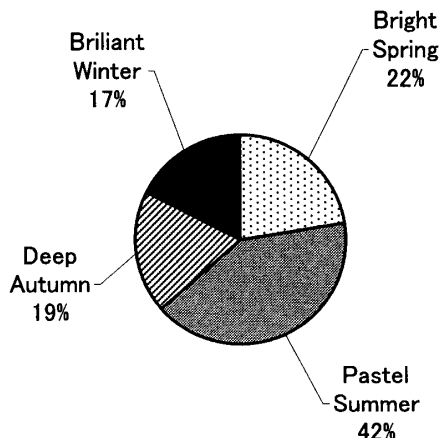


図2-B(京阪神/京都・大阪・兵庫)

